



箭山

夢実現

自ら学び

仲間と共に

未来を拓く生徒の育成

三光中通信

第13号

令和8年2月12日(木)

校長 今長 博文

進級する自覚と緊張感をもって準備をしよう！

今年も猛烈な寒波がやってきました。この寒さの中でも、3年生は大事な高校入試の日程が入っています。3日、4日は県立高校の推薦入試、そして引き続く5日には私立高校の一次入試が行われ、受験真ただ中です。すでに吉報をもらった人もいますが、多くの3年生は3月10日の公立高校受験に向けて、追い込みに入っていきます。「夢実現」において、これまでの努力の成果を発揮して、立派な高校生になってくれることを期待しています。

また、8日には新入生説明会があり、後輩たちが4月に向けて動きはじめました。新入生たちは授業参観や部活動見学、そして学校説明にとっても期待を膨らませているようでした。そのまなざしの先にあるのは、先輩である皆さんです。皆さんは進級した4月の自分の姿が、イメージできていますか？「あんな先輩みたいになりたい」と新入生に憧れられるように、自覚と緊張感をもって、進級までの残りの日々を大切にしてほしいと願っています。



↑ 入試に向かう3年生



↑ 中学校入学説明会

3.11 から 15年「しあわせ~きっと訪れるそのときを信じ、一歩前へ」



東日本大震災からもうすぐ15年がたちます。三光中の校長室には、その震災直後に書かれた書が掲げられています。この書は三光にお住いの書道家「黒岩三溪」さんの作品で、「しあわせ きっと訪れるそのときを信じ、一歩前へ」と力強く書かれています。黒岩さんは東日本大震災に大きな衝撃を受け、筆を握ることができなくなりましたが、自身が被災しながらもボランティア活動を続ける若者の姿をテレビで見て「自分にできることを精いっぱい頑張ることが、人々を元気づけることになる」と創作を再開し、書き上げたものだそうです。そしてその年の女流書展で大きな賞を受けたこの作品を、2011年12月に三光中に寄贈してくださいました。「可能性を信じて前に進んでほしい」という願いのこもったこの書を大切にしながら、これからも、震災のことを忘れず、そしてその震災から立ち上がろうと日本中が熱い思いでつながったことを忘れないでいたいと思います。

青羽先生、お元気で

来週2月17日(火)より、青羽先生が出産のための休暇に入ります。皆さんもまだ一緒に過ごしたいという気持ちだと思いますが、新しい命を誕生させるためにとても大切なお休みです。

みんなで青羽先生が健康で無事に出産できるようお祈りしましょう。



「卒業式」まであと23日

今年度の卒業式は3月6日(金)です。今、それぞれの学年が、合唱練習や壁画の作成などの取り組みを進めていますが、卒業生、在校生共に気持ちのこもった感謝があふれる温かい卒業式になることを期待しています。

